

横浜市独自の女性農業者支援制度

第24期 よこはま・ゆめ・ファーマー

認定式を実施します！



横浜市では、女性農業者がいきいきと働き暮らせる農のある豊かなまち横浜を目指すため、農業経営・農家生活・地域活動等に主体的にかかわっている女性農業者を「よこはま・ゆめ・ファーマー」として認定しています。このたび、令和元年度、第24期よこはま・ゆめ・ファーマーとして5人の女性を認定します。本制度が始まった平成8年度から今年度まで、のべ128人の方がよこはま・ゆめ・ファーマーに認定されることとなります。



1 認定者の概要

認定者名	農業従事地区	農業経営
よこみぞ 横溝 由 綿子 さん	港北区	果樹を生産 収穫体験や加工で販路の拡大を目指す
たなか 田中 美穂 さん	都筑区	野菜と果樹を生産 主に自家直売、農協直売と市場へ出荷
こやま 小山 まさみ さん	栄区	野菜を生産 主に自家直売、農協直売で販売
かわと 川戸 佳 菜子 さん	戸塚区	野菜を生産 主に自家直売と市場へ出荷
ないとう 内藤 裕美子 さん	泉区	野菜を生産 主にスーパーなどへ出荷

2 日時・場所

日時：令和元年7月24日(水)午前11時から11時30分
場所：環境創造局長室（関内中央ビル6階）



3 概要

環境創造局長から認定書を交付し、認定者が今後の活動に向けた抱負を語ります。

昨年度の様子

◆参考情報



「横浜農場」について・・・

「横浜農場」は、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体を農場として見立てた言葉です。横浜市では、この「横浜農場」を使い、横浜の農業のPRを進めています。

裏面あり

【参考】よこはま・ゆめ・ファーマー支援事業概要

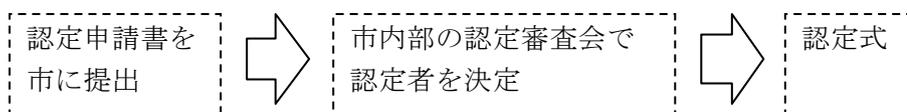
1 認定要件

- (1) 横浜市内に居住する女性で、認定時の年齢が原則として 60 歳以下の者
- (2) 農業に従事する者、又は農家世帯の構成員で農家生活や地域の活性化のために積極的に活動をしている者
- (3) 目指す女性農業者像の目標に対して積極的に取り組む意志のある者

2 目指す女性農業者像

- (1) 農業者として、地域の農業を支える担い手としての自覚と誇りを持つ。
- (2) 農業経営に主体的に参画し、豊かな暮らしの実現に努める。
- (3) 生活者の視点を活かし、消費者との連携を深めた農のある地域づくりや、女性たちの仕事づくりを目指す。
- (4) 地域の農業に関する様々な方針決定の場へ積極的に参画する。
- (5) 女性農業者ならではのネットワークづくりを目指す。

3 申請から認定までの流れ



4 認定後の支援（認定から 4 年間）

- (1) グループ活動の補助
- (2) 研修の場への参加、ネットワーク作りの支援

5 平成 30 年度の活動支援

- (1) グループ活動の補助【視察研修会】
1 年中イチゴの摘み取り可能な収穫体験施設を備えたイチゴのテーマパークと市内産農産物を活用したワイナリーや和菓子店の商品開発に取り組む事業者の視察について経費の一部を補助しました。
- (2) マルシェへの出店支援等
「よこはま食と農の祭典 2018@横浜農場」に出店支援を行い、多くの来場者へ市内産農産物への P R を行いました。

6 直売所・加工所の設置支援事業における補助（横浜みどりアップ計画）

よこはま・ゆめ・ファーマーも補助の対象者になっており、平成 21 年度から平成 30 年度までに 32 件支援しました。



平成 30 年度の視察研修会の様子

※取材を希望される場合は、事前にご連絡をお願いします。

お問合せ先

環境創造局農業振興課長

綿貫 理 Tel 045-671-2606